

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら
指定管理者名	株式会社江ノ島マリンコーポレーション
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模川ふれあい科学館条例
施設の設置目的	相模川に生息する魚類その他の相模川に関する資料を展示し、及び相模川に対する理解を深める場を市民に提供することにより、相模川の自然に親しみ、自然を守り育てる心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与するため(相模原市立相模川ふれあい科学館条例第2条)
施設概要	開館日 昭和62年11月15日(リニューアルオープン 平成26年3月26日) 所在地 相模原市中央区水郷田名1-5-1 敷地面積 15,722㎡ 延床面積 1,711㎡(展示スペース743㎡)
施設所管課	環境経済局 水みどり環境課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	211,746	218,518	204,123	121,864	176,404	227,386	
利用料金合計(円)	34,389,260	36,924,710	35,682,320	24,923,020	37,519,200	47,198,160	

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	<ul style="list-style-type: none"> ・指標1については、新型コロナウイルス感染症対策により入館や解説イベント等の実施が制限される中、年間利用人数の目標値を大幅に上回り、開館以来最多となった。 ・指標2については、利用者満足度調査を実施し、「大満足」と「満足」の合計が目標値を5ポイント上回った。 ・指標1と指標2の達成度を平均すると、117.8%となることから、S評価とする。

指標1

指標名(単位)	年間利用人数(人)
指標式と指標の説明	年間利用者数の目標である17万5千人を指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	140,000	140,000	175,000	175,000 (121,611)	175,000 (135,748)	175,000	
実績値(人)	211,746	218,518	204,123	121,864	176,404	227,386	
達成度(%)	151.2%	156.1%	116.6%	100.2%	129.9%	129.9%	

指標 2							
指標名 (単位)	施設利用者満足度 (%)						
指標式と指標の説明	施設利用者満足度調査による満足度を指標とする。利用者満足度を5段階で評価し、「大満足」と「満足」の合計が90%に達することを指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績値 (%)	94.4	95.7	95.3	95.0	96.0	95.0	
達成度 (%)	104.9%	106.3%	105.9%	105.6%	106.7%	105.6%	

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で展示装置や解説イベントの実施が制限される中、利用者を飽きさせないために、楽しく体験して学べる多彩なプログラムを実施し、利用者に広く親しまれていた。 ・「海の生き物水槽」をリニューアルし、新規利用者及びリピーターの確保に努めた。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
特別企画展(年4回以上)	通年	特別企画展(「メダカ展」、「アマゾン展」、「昔と今の生き物展」、「相模のカニ展」)を実施	◎
海の生き物水槽リニューアル	6月	自主的に設置していた「海の生き物水槽」の水槽を低めにして見やすくし、かつモニターを設置して動画などで解説をより詳しく分かり易いものにリニューアルした。	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
体験学習教室	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・10個の有料プログラム(参加者数:26,305人)、6個の無料プログラム(参加者数5,931人)を実施 ・ふれあい田んぼやフィールド体験等の館外プログラムを実施 	◎
餌付け体験	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・魚とのふれあいを体験いただくイベントとして「お魚にごはん(餌付け体験)」を実施し、104,267個(総入館者数の46.3%)が購入された。 	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・前年度(403件)を上回る回答数を得たこと、また、感染症対策の観点から、展示装置やイベント解説の制限を実施してきた中で、「大満足」と「満足」の合計が目標値を5ポイント上回っており、利用者のニーズに沿った運営がされたと高く評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者満足度調査を年2回実施【上期】時期:令和4年9月22日～9月25日 有効回答数:220件、【下期】時期:令和5年3月24日～26日 有効回答数:234件
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「大満足」と「満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績値（%）	94.4	95.7	95.3	95.0	96.0	95.0	
達成度（%）	104.9%	106.3%	105.9%	105.6%	106.7%	105.6%	

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱	通年	施設入口の受付カウンターに意見箱を常時設置し、来館者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、職員間で共有を図り、対応に努めている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支は赤字であるが、全体収支が黒字であり、団体本体の経営状況としても、特段の課題はなく安定しているため、A評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入（a）		149,841	147,128	136,281	
指定管理料		85,621	82,713	82,641	
利用料金収入		24,923	37,519	47,198	
その他の収入		39,297	26,896	6,442	
支出（b）		127,796	133,242	157,087	
人件費		65,164	68,375	78,591	
本社管理経費		0	0	0	
その他の支出		62,632	64,867	78,495	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		22,045	13,886	△ 20,805	
自主事業収入（d）		37,888	48,993	64,396	
自主事業支出（e）		18,702	18,689	24,556	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		19,186	30,304	39,840	
全体収支【(c)+(f)】		41,231	44,190	19,035	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地調査により検査を実施
実施時期	令和5年6月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	トップ画面で水族館を分かり易く画像で紹介、SNSとの連携など

9 指定管理者の自己評価

コロナ感染対策を継続しながら"Withコロナ"の営業体制で臨みました。6月に「海の生き物水槽」をリニューアルする等、展示紹介の工夫を継続実施しました。結果、過去最多の入館者数を記録しました。一方で、電気料金の高騰や原材料価格の値上げ等もあり営業経費が増加した1年となりました。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症対策により入館制限等が実施される中、年間利用者人数が目標値を大幅に上回り開館以来最多となったことは大いに評価できる。また、コロナ禍で解説イベントや展示装置の提供が制限されるなかで、利用者満足度についても高い水準を維持している。

これらは、工夫を凝らした展示や、「海の生き物水槽」をリニューアルするなど、利用者を飽きさせないよう取り組んできた成果であり、利用者の満足度を高めることにつながっていると考える。

令和4年度は、物価高騰により営業経費が増加する中でも、「海の生き物水槽」の更新や予算を超える修繕費の執行など、率先して利益還元を実施し、施設の機能向上に貢献している。

引き続き、安全・安心かつ快適で、利用者に広く親しまれる管理運営に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

・何度訪れても楽しめるような工夫がされている。展示内容等に研究色が出てきている部分、発見があったことをプレスリリース等で広く発信していくことで集客にもつながっていくと思うので、運営手法の一つとして検討いただきたい。

・コロナ禍において、施設の運営面で大変な部分があったかと思うが、マイクロツーリズムの効果もあって多くの方々に施設の魅力を知ってもらうことができたと思う。引き続き、マス媒体を活用するなど、企画内容等を市の魅力ある施策として市内外に発信していただきたい。

・利用者満足度に基づく評価がA評価となっているが、目標値が非常に高いためにSの評価基準に達しないことは疑問がある。実質的にはS評価に値すると考える。

・魚の飼育環境が素晴らしい。

・特別企画展について、地元の生物等の魅力を浮き上がらせるような工夫ができていると感じている。今後は、地元の漁協など、外部団体等と連携した事業を行う機会を増やしていただきたい。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

